(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3562991号
(P3562991)
(45)発行日　平成16年9月8日(2004.9.8)　(24)登録日　平成16年6月11日(2004.6.11)

(51)Int.Cl.[7]　F I
A47F　7/00　A47F　7/00　L

請求項の数 1　(全 7 頁)

(21)出願番号　特願平11-65249
(22)出願日　平成11年3月11日(1999.3.11)
(65)公開番号　特開2000-253972(P2000-253972A)
(43)公開日　平成12年9月19日(2000.9.19)
審査請求日　平成13年3月6日(2001.3.6)

(73)特許権者　000000952
カネボウ株式会社
東京都墨田区墨田五丁目１７番４号
(74)代理人　100079382
弁理士　西藤　征彦
(72)発明者　亀谷　雅子
東京都港区海岸３丁目２０番２０号　鐘紡株式会社内

審査官　宮崎　敏長

最終頁に続く

(54)【発明の名称】商品陳列ツール

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
関連ある複数の商品を陳列するのに用いられるツールであって、上記複数の商品を所定間隔で陳列しうる水平面部とその奥端縁から上方に延びる起立面部とで構成された基台と、上記基台水平面部の前端縁から基台起立面部に向かって上り傾斜に延びる傾斜部を有するガイド板と、上記基台の水平面部と起立面部に沿って重ねられ上記基台とガイド板の間に挟まれる印刷シートとを備え、上記ガイド板が、透明プラスチック板で形成されており、上記傾斜部の前端部を、上記印刷シートが重ねられた基台水平面部の前端部に係合させ、上記傾斜部の後端部を、上記印刷シートが重ねられた基台起立面部の上端部に係合させることにより、基台に対し着脱自在に取り付けられるようになっているとともに、その傾斜部に、上記印刷シートが重ねられた基台水平面部に陳列される複数の商品を個別に挿通させるための抜き穴が形成されていることを特徴とする商品陳列ツール。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、複数の商品を一まとまりで陳列することのできる商品陳列ツールに関するものである。
【０００２】
【従来の技術】
従来から、化粧品販売店等では、商品である化粧品やそのテスターを、専用の陳列台や陳

列棚を用いて整然と陳列することが行われているが、販売促進に力を入れている新シリーズの商品やそのテスターについては、顧客や販売員が、すぐ手にとることができるように、カウンターや棚の目立つスペースに、これらを一まとまりで、一定のバランスを考えて少しずつ間隔をあけて並べるようにすることが多い。例えば、図４に示すように、互いに組み合わせて用いることが推奨される、新シリーズの化粧品のテスター１～３を、メインカウンターの上に、目立つように並べて置く。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このような陳列形態では、せっかくバランスよく３つのテスター１～３を並べていても、顧客が手にとって試し、再び戻すことを繰り返すうちに、並び方のバランスが崩れるため、１日のうち何度も、店員がその配置を正しく直さなければならないという問題がある。また、上記テスター１～３が、試供動作に不便な棚の上等に並べられている場合は、テスター１～３を一つずつ手前に下ろしてから試供を行わなければならず、顧客にとっても店員にとっても煩雑な手間を要するという問題もある。

【０００４】

本発明は、このような事情に鑑みなされたもので、互いに関連する商品やテスター等を、一まとまりとしてバランスよく陳列することができ、しかもその陳列状態を保ったまま移動させることができて取扱いやすい、優れた商品陳列ツールの提供をその目的とする。

【０００５】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、本発明は、関連ある複数の商品を陳列するのに用いられるツールであって、上記複数の商品を所定間隔で陳列しうる水平面部とその奥端縁から上方に延びる起立面部とで構成された基台と、上記基台水平面部の前端縁から基台起立面部に向かって上り傾斜に延びる傾斜部を有するガイド板と、上記基台の水平面部と起立面部に沿って重ねられ上記基台とガイド板の間に挟まれる印刷シートとを備え、上記ガイド板が、透明プラスチック板で形成されており、上記傾斜部の前端部を、上記印刷シートが重ねられた基台水平面部の前端部に係合させ、上記傾斜部の後端部を、上記印刷シートが重ねられた基台起立面部の上端部に係合させることにより、基台に対し着脱自在に取り付けられるようになっているとともに、その傾斜部に、上記印刷シートが重ねられた基台水平面部に陳列される複数の商品を個別に挿通させるための抜き穴が形成されている商品陳列ツールをその要旨とする。

【０００６】

なお、本発明において、「商品」とは、実際に販売される商品のみならず、商品の販売促進のために、無料配布を前提として用意されるサンプルや、店頭での試供に用いられるテスター、あるいは試供用の補助具等、販売促進に役立てられる各種の物品を含む趣旨で用いている。

【０００７】

【発明の実施の形態】

つぎに、本発明の実施の形態について説明する。

【０００８】

図１は、本発明を、化粧品のテスターを試供する際に用いられる補助具の陳列に適用した一実施の形態を示している。

【０００９】

この陳列ツール１０は、水を充填したペットボトル１１と、ボウル１２とを一まとまりで陳列するようになっており、これら１１，１２を載せるための基台１３と、その上に重ねられる印刷シート１４と、上記印刷シート１４を挟んで基台１３に着脱自在に取り付けられる透明なガイド板１５とで構成されている。

【００１０】

上記基台１３は、図３に示すように、水平に延びる水平面部１６と、その奥端縁から垂直に起立する起立面部１７とで構成されており、全体が厚み１ｍｍの白色プラスチック板で

一体的に形成されている。

【００１１】

上記基台１３の上側に重ねられる印刷シート１４は、厚み０．１～０．２ｍｍの紙製もしくはプラスチック製のシートで、基台１３の水平面部１６と起立面部１７に沿うよう、中央で直角に折り曲げられており、水平面部１６に重なる部分の表面１８には、黄色いレモンがたくさん重なったカラー写真が表示されている。これは、この部分に陳列されるペットボトル１１とボウル１２を用いて試供する対象が、ビタミンを含み爽快な洗い上がり感を特長とする洗顔料であることから、そのイメージとしてレモンを用いたものである。そして、上記印刷シート１４の、起立面部１７に重なる部分の表面１９には、上部に、緑色の楕円内に白抜きで「ＦＲＥＹＡ」と表示された見出し部２０が設けられており、その下に、その試供対象である洗顔料のカラー写真２１が表示されている。なお、上記「ＦＲＥＹＡ」は、上記洗顔料の商品名である。

【００１２】

そして、上記印刷シート１４を挟んで基台１３に取り付けられるガイド板１５は、全体が厚み０．５ｍｍの透明プラスチック板で形成されており、その前端部に、上記印刷シート１４が重ねられた基台１３の水平面部１６の前端部と嵌合する折り返し部１５ａが延設されている。そして、上記前端部から奥に向かって緩やかに上り傾斜で延びる傾斜部２２と、この傾斜部２２の奥端縁から垂直方向に立ち上がる起立面部２３とを備え、上記起立面部２３の上端部に、上記印刷シート１４が重ねられた基台１３の起立面部１７の上端部と嵌合する折り返し部１５ｂが延設されている。ガイド板１５の起立面部２３は、基台１３の起立面部１７に、印刷シート１４を挟んでぴったり重なるようになっている。

【００１３】

また、上記ガイド板１５の傾斜部２２には、基台１３の水平面部１６に陳列されるペットボトル１１とボウル１２を、それぞれ個別に挿通させるための抜き穴２４，２５が形成されている。

【００１４】

したがって、上記基台１３に印刷シート１４を重ねた状態で、まずガイド板１５の起立面部２３上端部を基台１３の起立面部１７上端部に嵌合して、両者１３，１５の間に印刷シート１４を固定し、つぎに、ガイド板１５の可撓性を利用して、その傾斜部２２を手前に引き気味にして、その前端部を、基台１３前端部に嵌合して、全体を簡単に一体化することができる。そして、上記ガイド板１５の傾斜部２２に形成された抜き穴２４，２５内に、ペットボトル１１とボウル１２をそれぞれ挿通して載置し、図１に示す陳列形態を完成することができる。

【００１５】

なお、このペットボトル１１とボウル１２を用いて試供しようとする洗顔料のテスター３０を、例えば図２に示すように、水平面部３１と起立面部３２を備えた展示ツール３３に載置して、上記陳列ツール１０の近傍に配置することが好適である。上記起立面部３２に、上記陳列ツール１０の印刷シート１４による表示と共通する表示を付与することにより、陳列ツール１０と展示ツール３３とで、統一感のある陳列構成を実現することができるからである。

【００１６】

ちなみに、上記テスター３０の試供は、つぎのようにして行うことができる。まず、上記テスター３０の洗顔料を手の甲に少量取り、泡立てたのち、ボウル１２上で、ペットボトル１１の水を使って洗い流す。これにより、テスター３０の洗顔料の爽快な洗い上がり感を実感することができるようになっている。

【００１７】

このように、上記陳列ツール１０によれば、試供時に、同時に使用するペットボトル１１とボウル１２を、一まとまりとして、一定の間隔で陳列保持することができ、必要に応じて、陳列ツール１０ごと適宜の位置に移動させることができる。その際、ガイド板１５の傾斜部２２に形成された抜き穴２４，２５が、ペットボトル１１とボウル１２の保持ガイ

ドとして機能するため、これらの位置がずれたり、脱落したりすることがなく、常に適正な位置にこれらを保つことができるという利点を有する。

【００１８】

しかも、上記陳列ツール１０は、ガイド板１５を透明プラスチック板で形成し、このガイド板１５と基台１３の間に印刷シート１４を挟んだ状態で、両者の両端部を着脱自在に嵌合するよう設定しているため、上記印刷シート１４を、異なる印刷表示がなされた印刷シートに交換するだけで、宣伝広告の内容を変えることができる。したがって、印刷シートを変え、抜き穴２４，２５に挿通させる商品を他の商品に入れ替えるだけで、簡単に陳列構成をがらっと変えることができる。もちろん、一枚の印刷シート１４の表裏に、それぞれ異なる印刷表示を付与しておき、状況に応じて、印刷シート１４の表面と裏面を使い分けるようにしてもよい。また、ガイド板１５自体を、抜き穴２４，２５の配置や大きさが異なる他のガイド板と交換して、陳列構成を変えることもできる。

【００１９】

なお、基台１３とガイド板１５とを着脱自在に取り付けるには、上記の例のように、ガイド板１５の両端部に折り返し部を延設し、この部分を基台１３の両端部に嵌合させる以外の方法を用いても差し支えはない。例えば、基台１３の両端部に係合用の穴を形成するとともに、ガイド板１５の両端縁に突片を形成しておき、上記穴内に、ガイド板１５の突片を差し込むことにより、両者１３，１５を一体化することができる。

【００２０】

また、ガイド板１５の傾斜部２２は、必ずしも基台１３の起立面部１７の中間の高さに達するようになっている必要はなく、起立面部１７の上端の高さまで到達するよう設定してもよい。そして、傾斜部２２の傾斜面が一定の角度を保っている必要もなく、例えば円弧状に湾曲した斜面に設定することもできる。

【００２１】

なお、上記の例は、本発明を化粧品に関する商品（テスター試供用の補助具）の陳列に適用したものであるが、陳列する商品は、化粧品に限らず、どのような商品であっても差し支えはない。ただし、一まとまりとして取り扱う組み合わせ商品や関連商品の陳列に適用することが好適である。

【００２２】

【発明の効果】

以上のように、本発明の商品陳列ツールによれば、関連ある複数の商品を、一まとまりとして、一定の間隔で陳列保持することができる。そして、必要に応じて、陳列した状態のまま、適宜の位置に移動させることができ、その際、陳列された商品が、ずれたり、脱落したりすることがなく、常に適正な位置を保つことができるため、その取扱いが非常に便利であるという利点を有する。特に、本発明の商品陳列ツールは、ガイド板を透明プラスチック板で形成し、このガイド板と基台の間に印刷シートを挟んだ状態で、両者の両端部を着脱自在に嵌合するよう設定しているため、上記印刷シートを、異なる印刷表示がなされた印刷シートに交換するだけで、宣伝広告の内容を変えることができる。したがって、印刷シートを変え、抜き穴に挿通させる商品を他の商品に入れ替えるだけで、簡単に陳列構成をがらっと変えることができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の一実施例を示す斜視図である。

【図２】上記実施例の陳列品を用いて試供する洗顔料の説明図である。

【図３】上記実施例の分解斜視図である。

【図４】従来の関連商品の陳列形態を示す説明図である。

【符号の説明】

１０　陳列ツール

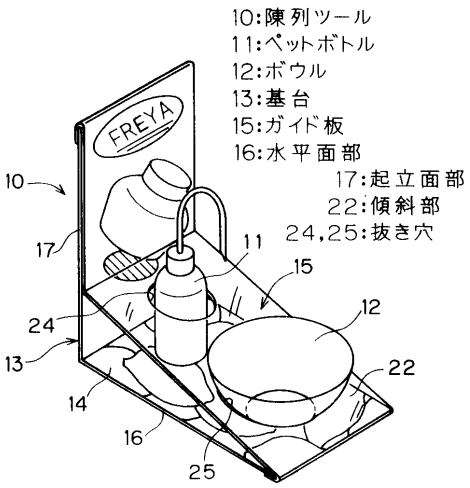
１１　ペットボトル

１２　ボウル

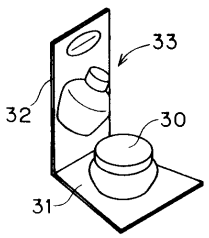
１３　基台

１５　ガイド板
１６　水平面部
１７　起立面部
２２　傾斜部
２４，２５　抜き穴

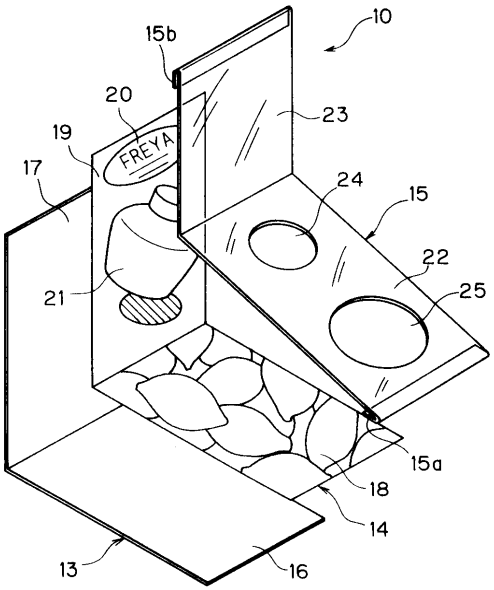
【図１】



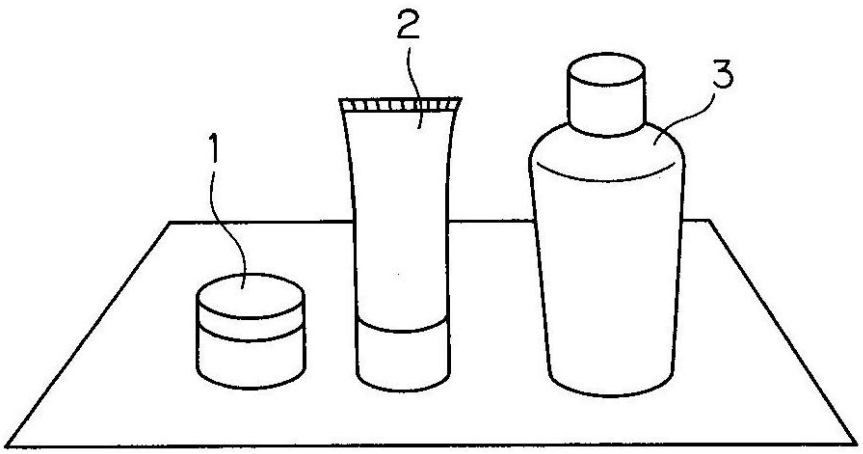
【図２】



【図３】



【図４】



フロントページの続き

(56)参考文献 実公昭４７－０２２２３２（ＪＰ，Ｙ１）
実公昭０９－００３９３４（ＪＰ，Ｙ１）
実公昭４６－０００１１４（ＪＰ，Ｙ１）
実開昭５４－１７０８００（ＪＰ，Ｕ）
実公昭１２－０１１１４７（ＪＰ，Ｙ１）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
A47F 3/14
A47F 5/16
A47F 7/00
G09F 5/00 - G09F 5/04